

北杜市DX推進計画について

計画策定の趣旨

- 日本は現在大きな転換期を迎えており、人口減少・少子高齢化の進展、新型コロナウイルス感染症拡大を背景とした新たな生活様式への対応、地球温暖化を背景とした自然災害の甚대화、デジタル化の進展など、市民を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。
- 本市では将来都市像である「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を継承し、令和4(2022)年3月に第3次北杜市総合計画-幸せ実感 北杜市チャレンジプラン-を策定し、本市の強みを活かすことで、子育て世代や若い世代、次世代産業に選ばれるまちとなるため、「2030年、地域のありたい姿」を設定しています。また、執行計画である前期基本計画(令和3(2021)年度～令和7(2025)年度)の優先化・重点化すべき取組として示されているリーディングプロジェクトに「行政・地域のDXを推進する」を掲げており、デジタル活用と地域特性を活かしたまちづくりの推進を図り、市民のQOL(生活の質)の向上のため取り組んでいます。
- 本計画は、上記計画の方針のもと、本市におけるDX推進の方向性と具体的な実行に向けた施策を示すものとして策定します。



北杜市DX推進計画 概要版

北杜市考えるDXとは

- DXとは、「デジタルトランスフォーメーション: Digital Transformation」の略です。平成16(2004)年にスウェーデンの大学教授エリック・ストルターマンらが発表した論文の中で提唱されたのが起源と言われており、「デジタル技術の浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」と示されています。
- DXは、これまで紙などアナログで利用していたものを単にデジタル化するということではありません。これまで提供してきたサービスや業務フローを見直し、今までの固定概念にとらわれず、新しい価値の創出・あるべき姿への変革を行うことであり、その実現手段としてデジタル技術を活用します。
- 本市では、本計画を策定するにあたり、国や県の方向性、本市を取り巻く環境、市民や市職員のニーズなどの現状を見つめました。本市が今よりも快適に住みやすく、たくさんの人から愛される地域へスピード感をもって変革していくため、有効的にデジタル技術を活用していきたいと考えています。

計画期間

- 本計画期間は、始期を令和5(2023)年度とし、終期は総務省が示す自治体DX推進計画及び第3次北杜市総合計画前期基本計画の期間を合わせ、令和7(2025)年度までの計3年間とします。



北杜市DX推進計画 検索

北杜市公式LINE 始めました

LINE(ライン)で市政情報を発信しています。ぜひ友だち追加を!



毎日市政情報をお送りしています。

新型コロナウイルス関連情報や防災情報、子ども・子育て情報、こみの別検索ができるメニューを用意しています。

友達追加方法



スマートフォン等で二次元バーコードを読み取りと登録画面に進みます

各種SNS

北杜市からのお知らせやイベント情報を各種SNSでも配信しています。

Twitter
北杜市公式 @cityhokuto
北杜市消防防災情報 @bousaihokuto

Instagram
北杜市公式 @hokuto.yamanashi

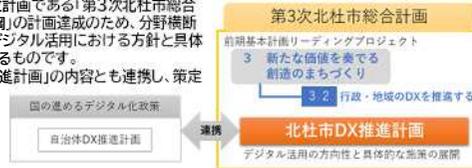
note
北杜市公式 https://hokuto-city.note.jp/

お問い合わせ

未来創造課 デジタル戦略担当
TEL.0551-42-1164/FAX.0551-42-1127
Email.miraisouzou@city.hokuto.yamanashi.jp

本計画の位置づけ

- 北杜市DX推進計画は、上位計画である「第3次北杜市総合計画」及び「新・行政改革大綱」の計画達成のため、分野横断的にデジタル化を支援し、デジタル活用における方針と具体的な取組及び目標を提示するものです。
- 国が策定した「自治体DX推進計画」の内容とも連携し、策定しています。



北杜市DX推進計画の基本方針と方向性

基本方針

みんなの思いを合わせて、北杜の新しい未来へ踏み出すためのDX

1 市民が暮らし続けたい、誇れるまちづくりのためのDX

本市には豊かな自然や景観、おいしいお水・お米といったたくさんの魅力があります。また、子育て世代や移住者への充実したサポートや、市民のみなさまに生きがいを持って暮らしてもらうための充実した取組も魅力の1つとされています。市民のみなさまが本市の魅力に誇りを持ち、他のまちに住む人々たちから選ばれるまちになるため、DXを推進した取組を行っています。

2 全市民が安心して、快適に過ごせるまちづくりのためのDX

市民のみなさまがいそいそと生活し、自身がパワーを注ぎたい活動に注力できるようにするには、普段の生活が快適に、安心して送れる必要があります。市民のみなさまが毎日暮らしやすくなるよう、DXを活用した暮らしのサポートを実現します。

3 北杜のありたい姿へチャレンジする庁内の基盤づくり(庁内のDX化)

市民のみなさまへ充実したサービス・サポートを提供するには、デジタルで効率化できる内容を増やし、市民のみなさまとの接する時間を増やすことが重要となります。デジタルの利用による最初の一步は大変ではありますが、市職員が一丸となりチャレンジし、庁内のDX化に取り組みます。

施策体系

方向性	施策分野	令和7年度までに取り組む施策
1 市民が暮らし続けたい、誇れるまちづくりのためのDX	(1)北杜ブランド(農作物・おいしいお水)の更なる成長	①スマート農業の推進 ②IoTを活用した鳥獣害対策 ③スマートメーター等を活用した検針業務の効率化
	(2)市民のデジタル利用サポートと自己実現機会の創出	①市民に対するスマートフォン教室等の開催 ②各種セミナーのオンライン開催
	(3)市民が利用しやすい公共サービスの提供	①各種施設における無線Wi-Fi環境の提供 ②図書館運営におけるデジタル化
2 子どもたちと子育て世代がいそいそと暮らすまちづくり	(4)市民がいそいそと暮らすための健康・福祉の充実	①デジタルを活用した介護支援の実施
	(1)デジタルを活用した効率的な保育サービスの提供	①保育施設向けの業務支援システムによる効率化 ②乳幼児健診の間診票事前データ化
	(2)デジタルを活用した充実した教育の提供	①教職員のデジタル活用スキル向上 ②児童生徒1人1台タブレット端末を活用した学習の充実
3 北杜の魅力を引き出し、住みたい・行きたいまちづくり	(1)DXを活用した移住定住の促進	①引越越しフットストップサービスへの対応 ②オンラインを活用した移住定住の推進 ③オンラインを活用した婚活支援 ④空き家バンク制度の活用推進とホームページの利用促進 ⑤ふるさと納税返礼品の施設利用券のデジタルチケット化
	(2)デジタルを活用した観光サービスの提供とSNSを活用した情報発信	①デジタルを活用した新たな観光サービスの提供 ②SNSを活用した情報発信の充実とデジタルマーケティングの活用 ③デジタルアート・文化財発信事業
	(1)マイナンバーカードの活用による便利で効率的な行政サービスの提供	①マイナンバーカード取得の促進施策の展開と手続きの拡大 ②マイナンバーカードによるオンラインを活用した医療の提供・充実 ③各種書類に関するコンビニ交付の拡充
1. 全市民が安心して、快適に過ごせるまちづくりのためのDX	(1)オンライン手続きの拡充と認知度向上	①各種申請のオンライン手続きの推進・拡充
	(2)キャッシュレス決済の導入による支払い手段の多様化	①各種支払いにおけるキャッシュレス決済の導入・促進
	(1)待たない・書かない・行かない窓口の構築	①わかりやすい窓口の構築 ②タブレット端末を活用した書かない窓口の実現 ③各種窓口やイベント申込等におけるオンライン予約の提供
2. 必要な情報に辿り着きやすい、情報発信の充実と多様化	(1)わかりやすく充実した情報提供と北杜市公式LINEの活用	①わかりやすいホームページの作成 ②オープンデータの充実 ③北杜市公式LINEによる各種情報提供の実施、機能の拡充
	(2)デジタルの活用による安心して暮らすまちづくりの実施	①防災行政無線の高度化によるSNS等を活用した情報の一斉配信 ②道路損傷等通報システムの導入 ③ドライブレコーダーを活用したAI道路管理システムの導入
	(1)庁内ネットワークの最適化	①庁内ネットワークの最適化
1. 効率のかつ柔軟な業務の推進	(2)テレワーク環境の構築とペーパーレスの推進	①クラウドPBXの導入 ②文書管理システムの電子決裁の導入 ③ペーパーレス化の実施・推進 ④テレワークを見据えた端末の導入
	(3)タブレット端末の活用による業務効率化	①職員1人1台タブレット端末の外出先等や業務での活用、モバイルワークの実施 ②タブレット端末を活用した農地の状況確認 ③庁内で共通利用かつモバイルワークにて活用できるGISの検討
	(1)AI・RPAの活用による庁内事務の効率化・短縮化	①AI・RPAを活用した業務効率化 ②AIチャットボットの構築・運用
2. AI・RPAの活用による庁内事務の効率化・短縮化	(1)システム標準化・共通化への対応	①国が進めるシステム標準化・共通化への対応
	(1)情報を適切に扱うための各種セキュリティポリシーの策定	①セキュリティポリシー改定及びセキュリティ中期計画策定
	(2)デジタルに強い職員の育成・ICTリテラシーの向上	①職員の情報セキュリティ・ICTリテラシーの育成・研修の実施 ②デジタルに強い専門職員の育成
3. 情報システムの標準化・共通化	(1)システム標準化・共通化への対応	①国が進めるシステム標準化・共通化への対応
	(1)情報を適切に扱うための各種セキュリティポリシーの策定	①セキュリティポリシー改定及びセキュリティ中期計画策定
4. デジタルに強い職員の育成と情報セキュリティの徹底	(2)デジタルに強い職員の育成・ICTリテラシーの向上	①職員の情報セキュリティ・ICTリテラシーの育成・研修の実施 ②デジタルに強い専門職員の育成
	(3)外部人材の活用	①外部人材の登用

1 市民が暮らし続けたい、誇れるまちづくりのためのDX

2 全市民が安心して、快適に過ごせるまちづくりのためのDX

3 北杜のありたい姿へチャレンジする庁内の基盤づくり(庁内のDX化)

1

市民が暮らし続けたい、誇れるまちづくりのためのDX

1.市民が生きがいを感じ、住み続けたいまちづくり

- 北社ブランド(農作物・おいしいお水)の更なる成長
 - センサーデータ スマート農業の推進
 - 自動抑草ロボット
 - IoTを活用した鳥獣害対策
 - 検針業務の効率化
 - テレメトリ受信機を活用
 - 水通のスマートメーター実証実験
 - サルの特定
- 市民のデジタル利用サポートと自己実現機会の創出
 - 市民に対するスマートフォン 各種セミナーのオンライン開催
 - 教室等の開催
 - 好きな場所で受講可能
 - 録画での配信
 - 基本
 - 市民が利用しやすい公共サービスの提供
 - 生涯学習センター
 - 災害ボランティアセンター
 - 未提供施設への無線Wi-Fi環境の提供
- 市民がいいきと暮らすための健康・福祉の充実
 - デジタルを活用した介護支援の実施
 - データを活用した介護予防
 - アンストスーツによる介護サポート
 - 図書館運営におけるデジタル化
 - 業務の効率化
 - ペーパーレス
 - 新たな価値

2.子どもたちと子育て世代がいいきと暮らすまちづくり

- デジタルを活用した効率的な保育サービスの提供
 - アプリ経由で保育施設等と連絡
 - スムーズな乳幼児健診を実現
 - 各種通知
 - 登降園等の連絡
 - 問診票の事前データ化
- デジタルを活用した充実した教育の提供
 - ICT支援員の活用
 - 家庭学習の質の向上
 - 教職員のデジタル活用スキル向上
 - 児童生徒1人1台タブレット端末を活用した学習の充実

3.北社の魅力を引き出し、住みたい・行きたいまちづくり

- DXを活用した移住定住の促進
 - オンラインを活用した移住定住の推進
 - リモートでの相談
 - メタバース婚活
 - 結婚応援サポートサイト
 - オンラインによる予約
 - マイナーポータル
 - 山梨県
 - 空き家バンクホームページ
 - 空き家バンク協会の連携
 - 引越引越しストップサービス
 - 空き家バンク制度の活用促進とホームページの活用促進
- デジタルを活用した観光サービスの提供とSNSを活用した情報発信
 - ふるさと納税返礼品のデジタルチャット化
 - 位置情報
 - マーケティングの推進
 - 魅力発信
 - 情報発信の充実
 - デジタルアートや文化財の発信
 - デジタル化
 - 届くまでのタイムラグ解消
 - 宿泊券
 - 飲食券
 - SNS

2

全市民が安心して、快適に過ごせるまちづくりのためのDX

1.マイナンバーカードの活用による便利で効率的な行政サービスの提供

- マイナンバーカード活用機会の創出・取得率の向上
 - 写真撮影
 - 長保総合支所
 - 休日・夜間申請
 - 事前予約
 - 窓口
 - マイナンバーカード申請サポート
 - 情報の連携
 - 過去の診療記録
 - 処方された薬 など
 - より良い治療の提供が可能
 - マイナンバーカードと健康保険証の一本化推進
 - 各種書類に関するコンビニ交付の拡充
 - マイナンバーカード
 - 24H
 - マルチコピー機
 - 住民票の写し
 - 印鑑登録証明書
 - 所得・課税・扶養証明書
 - 新型コロナウイルスワクチン接種証明書
 - 土日祝祭日OK

2.オンラインを活用したスムーズな手続きの提供

- オンライン手続きの拡充と認知度向上
 - 子育て
 - 介護
 - 被災者支援
 - 自動車保有
 - 各種申請のオンライン手続き
 - 各種支払
 - 市税納税通知書
 - 上下水道料金
 - PayPay LINE等
 - 利便性向上
 - キャッシュレス決済の導入による支払い手段の多様化

3.市民が利用したいスマート窓口(円滑な窓口)の構築

- 待たない・書かない・行かない窓口の提供
 - 支所
 - 市役所
 - 各種申請書づくりのサポート
 - 職員が必要事項を入力
 - 申請手続きにおけるタブレット端末の活用
 - 内容確認署名
 - 保健師との面談
 - 各種窓口やイベント申込等におけるオンライン予約の提供
 - 24時間予約OK
 - 各種窓口の予約
 - マタニティ教室(両親学級)やベビーマッサージ教室などの予約申込み
 - 各種イベントの申し込み
 - 公共施設利用予約
 - 窓口での待ち時間短縮

4.必要な情報に辿り着きやすい、情報発信の充実と多様化

- わかりやすく充実した情報提供と北社公式LINEの活用
 - 公式ホームページに「AIチャットボット」を導入
 - オープンデータの充実
 - 北社公式LINEの利便性向上・機能の充実
 - 指定管理施設一覧
 - 水質検査結果一覧
 - インターネットを通して利用
 - 子ども・子育て情報
 - 効率的に情報に辿り着ける
 - 問合せの解決
 - 防災情報
 - ゴミの分別検索
 - 道路破損等通報システムアプリの導入
 - 位置情報
 - 情報取得
 - メール・SNSへの一斉配信
 - 道路破損情報
 - 野生動物の死傷・災害など
 - 写真
 - 職員の迅速な対応
 - パトロールカー
 - ドライブレコーダーを活用したAI道路管理システムの導入
 - AI解析
 - ひび割れなどの自動割り出し

3

北社のありたい姿へチャレンジする庁内の基盤づくり(庁内のDX化)

1.効率的かつ柔軟な業務の推進

- 庁内ネットワークの最適化
 - Office365
 - Microsoft Teams
 - クラウドPBXの導入
 - 電話機端末のスマートフォン化
 - 外出先でも内線電話を受信
 - 自席からWeb会議
 - チャットツール活用
 - オンライン上で書類確認 & 承認まで完了
 - 文書管理システムの電子決裁導入
- テレワーク環境の構築とペーパーレスの推進
 - ペーパーレス化の実施・推進
 - テレワーク環境の構築とペーパーレスの推進
 - 紙文書
 - 保管スペースの確保
 - 自席PC等から資料確認可能
 - テレワークを見据えた端末導入
 - 軽量・携帯性
 - カメラ等機能
 - 出張時
 - テレワーク
 - Web会議時
- タブレット端末の活用による業務効率化
 - タブレット端末を活用した農地状況確認
 - GISの整備検討
 - 現地での報告作業
 - 農地情報
 - 各種データ
 - 災害発生個所の特定
 - 位置情報の共有

2.AI・RPAの活用による庁内事務の効率化・短縮化

- AI・RPAの活用
 - AI議事録自動作成システムの導入
 - AI自動音声認識
 - AI-OCRやRPAを活用した定型業務の自動化
 - RPAによる自動処理
 - 業務知識の蓄積
 - 職員間の相談時間削減
 - AIチャットボットを導入
 - 紙書類のデータ化

3.情報システムの標準化・共通化

- システム標準化・共通化への対応
 - 国が環境を構築
 - 国が進めるシステム標準化・共通化への対応
 - 地方公共団体が利用する対象システムの標準化
 - 共通的な基盤・機能
 - 各自の自治体の個別対応削減、人的・財政的負担の軽減
 - 各地方公共団体

4.デジタルに強い職員の育成と情報セキュリティの徹底

- 情報を適切に扱うための各種セキュリティポリシーの策定
 - セキュリティポリシー改定及びセキュリティ中期計画策定
 - 外部人材の活用
 - 専門知識やノウハウ
 - スピード感
 - 国の指針
 - 昨今のセキュリティ状況
 - 北社セキュリティ中期計画
 - 北社セキュリティ中期計画
 - 民間企業等
- デジタルに強い職員の育成・ICTリテラシーの向上
 - 職員の情報セキュリティ・ICTリテラシーの育成・研修の実施
 - 北社DX推進WGの実施
 - デジタルに強い専門職員の育成
 - デジタル戦略推進員
 - マイナンバーカード
 - 全職員を対象とした研修会の実施
 - 最新技術
 - 情報の取扱い
 - 各課のデジタル化と利活用の推進
 - 先進事例や最新技術活用に関する情報収集
 - 安心
 - 安全